

「JAL MaaS」インバウンド向けアプリの実証を開始

～利用者の位置情報などを活用した誘客につなげる取り組みを新潟県妙高市から始めます～

1. 訪日外国人向けに、公共交通機関や観光地などに関する情報をアプリに集約し、利用者の旅程・位置情報に合わせた適切なタイミングで情報提供する実証を、新潟県妙高市で開始します。
2. 新潟県妙高市への訪日外国人の約8割を占める豪州からの来訪者向けに実証を行います。
3. 初期導入をしやすい、Webブラウザ上でサービス利用が可能なアプリを採用しました。

JALは「JAL MaaS(経路検索・デジタルチケットサービス)」を通じて、あらゆる交通モードや地域と連携し、出発地から目的地までストレスフリーな移動体験の創出を目指しています。今般、NRI デジタル株式会社(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:雨宮正和)と一般社団法人妙高ツーリズムマネジメント(所在地:新潟県妙高市、代表:引場良男)と連携し、新潟県妙高市を訪れる訪日外国人向けにアプリを活用した情報集約サービスの実証を行います。

実証の流れ

目的地に近づくに従い、解像度の高い情報をお客さまに提供



本サービスでは、外国人が来日の際に不安を感じる言葉の壁や、観光情報の収集などの課題に注目し、多言語対応による地域に特化した情報提供を目指しました。事前に滞在日程や場所を登録することにより、”必要とされる情報を必要な時に”お知らせします。また、位置情報を活用し今後の誘客に向けた取り組みも行う予定です。

さらにサービス利用にあたっては Web ブラウザでのコンテンツ閲覧が可能となる PWA(*1)方式を採用し、アプリストアからのダウンロードをすることなく、手軽にご利用いただけるようにしました。



新潟県妙高市では、これまでも宿泊データを活用した域内の観光客数の把握や、スキー場での IC カードの活用などデジタル化を進めておりますが、本実証により、さらにスマートに域内を回遊できる仕組みを推進してまいります。

日本に到着する前からお客さまとの接点を持つ航空会社の特性を生かし、今回の実証結果を踏まえたサービスの拡大など、日本を訪れる海外のお客さまへのさらなる体験価値の向上に努めてまいります。

(*1) Progressive Web Apps (プログレッシブウェブアプリ) の略称。モバイルアプリと異なり、アプリストアからのダウンロードが不要なため、利用のハードルが低くなり、スマホ画面上にアイコンが配置されるため、利用者はアイコンのタップによりアプリの利用が可能。

【実証概要】

期 間: 2024 年 2 月 22 日 (木) ~ 3 月 31 日 (日) < 予定 >

利用場所: ・妙高高原エリア
・首都圏/関西圏の空港を起点とした公共交通機関

利 用 料: 無料

対応言語: 英語・日本語

以上